

う さ ぎ の 耳

聴くことは社会貢献の第一歩 !

第 67 号 (2022 年 7 月 1 日)

福津市社会福祉協議会内

◇ 福津市、社協、包括支援センター等からのお知らせ

◇ 会からのお知らせ

- 1 7月の定例会は、20日(水)13時30分から、3階らくらくルームです。県社協主催のきずなフェスティバルでの講演「ボランティアの心得と次世代への継承」の後半のビデオ研修をします。
- 2 ふれあいコール関連：6月は4件でした。
- 3 癒しのカフェ7月は10人でした。次回から、持ち回りで月ごとに担当者を指名し、気軽にお話して頂く卓話形式を採用したいと予定しています。何方でも、「これは是非人に教えてあげたい、話したい」と思われることがあると思います、それで良いのです。人に話すことと人の話を聴くことの練習になるでしょう。
- 4 イオン黄色いレシートキャンペーン、毎月11日に行われています。レシートをボックスに入れて資金を稼ぎましょう。
- 5 傾聴研修会を10月定例会(10:00から16:00)時に予定しています。福津市広報誌に掲載し、チラシも作成・配布する予定です。会員増に結びつけましょう。



◇ 会員の広場

傾聴ボランティア講座（DVD による）の実施 ～傾聴活動の再開を期して～

松倉慎一郎 会員

新型コロナ禍は収れんの方に向かっていますが、傾聴活動の再開を期して、令和3年10月から令和4年5月にかけて、都合6回にわたり、傾聴ボランティア講座を実施しました。受講者はそれぞれ13名～19名でした。そして講座内容について、受講者の皆さんの感想はおおむね良かったということでした。

新型コロナ感染拡大のため、2020年3月以降すべての施設および個人宅での傾聴活動を中止しています。その間、傾聴のモチベーション維持や傾聴スキル担保のため、「ふれあいコール」活動や時々のロールプレイングを実施しながら今日に至っています。

一方、傾聴活動の再開が期待されるようになった今、私たちは実質上一年半以上も活動から離れており、再開にあたって傾聴を基礎から学びなおそうということを役員会で決定し、一連の講座を開催することになった次第です。

「ほほえみ」は会の発足にあたって、ホールケアファミリー協会の鈴木絹英先生を招聘し、2日間にわたり、第1回傾聴ボランティア講座を受講しましたが(平成20年3月)、幸いにもその講座のDVDが残っており、教材としてそれを活用することにしました。内容としてはDVDを放映しながら、傾聴の基礎～傾聴のスキル～ロールプレイングと、当時の講座にほぼ準じた内容を学習・演習しました。一連の講座が終わったあとの参加者の感想は

- * 傾聴の原点に立ち返れてよかった。傾聴に取り組む心を新たにした。
- * 2年以上のブランクがあるが、再活動にあたって不安感が少なくなった。
- * 今後傾聴活動が復活してもこの類の勉強会を開催した方がよい。
- * 鈴木先生の講座内容・講義にあらためて素晴らしいと思った。

などで概ね評判は良かったようです。

今回の講座は、傾聴の本当の基礎となる部分を研修しただけで、これだけですべてOKというわけには参りません。より良い傾聴を目ざすためには、傾聴の現場から生じる様々な問題を、私たち自身で協議・解決し、それを次の傾聴に反映する、このようなスタイルが好ましいと思われます。

出来るだけ早期に活動が再開され、以前より充実した傾聴活動を展開したいものです。